

# 第9回 自然環境共生技術研究会

人がつながる 技術がつながる

## CoNECT 2026

Conference on  
Nature Environment  
Coexistence Technology



第9回CoNECTはオンライン形式と実会場での集合（発表者のみ）形式を併用して開催します。最新情報を共有し、交流を深める機会として、多数のご参加をお待ちしております。

主催：環境省自然環境局・(一社)自然環境共生技術協会

協力：自然系調査研究機関連絡会議

実会場：TKP新橋カンファレンスセンター ホール13A

（発表者・座長/副座長・事務局のみ集合）

オンライン会議システム：MS Teamsを使用（会員限定，要事前登録定員200名）

YouTubeによる同時配信（一般向け，視聴のみ。URL：NECTA HP※に掲載します）

※<https://necta.jp/>

令和8年

6月18<sup>木</sup>日 13:10 ~ 17:30 19<sup>金</sup>日 10:45 ~ 15:50

参加無料

一般向けはYouTubeのみ

1日目 Web接続 12:30開始	13:10~13:15	開会挨拶	
	13:15~15:10	特定セッション1~2	施設整備・維持管理運営、自然とのふれあい作法
	15:20~17:30	特別講演：愛甲 哲也 氏 自然とのふれあいの促進と課題	北海道大学大学院農学研究院 生物資源生産学部門 教授
2日目 Web接続 10:30開始	10:45~11:50	一般セッション1	自然とのふれあい
	11:50~13:00	昼食休憩	
	13:00~15:15	一般セッション2~3	調査・保全手法、地域の自然の評価
	15:35~15:50	表彰式、閉会挨拶	

申込先

[necta-1@necta.jp](mailto:necta-1@necta.jp)

件名に「CoNECT参加申込」と明記し、お名前、ご所属、メールアドレスをご記入の上、6月12日までに左記アドレスに送信ください（先着順）。

# 第9回 自然環境共生技術研究会【CoNECT2026】プログラム

CoNECT2026では、第1日目に「特定テーマ」に関する発表を集め、第2日目には「一般発表」とする2部構成としています。

今回も自然系調査研究機関連絡会議（NORNAC）の協力のもと、同連絡会議参加団体からの発表2件を含みます。

**【1日目】6月18日(木) 13:00～17:30**

**開会挨拶** 環境省自然環境局 堀上 勝(予定)

**特定セッション1(施設整備・維持管理運営)** 13:15～14:15

- 発表1 「木製施設の長寿命化と点検手法について」 千脇 義一(株ザイエンス)
- 発表2 「(仮)十和田八幡平国立公園八幡平ビジターセンターの展示改修における障害当事者参画」  
犬島 朋子(環境省自然環境整備課整備技術管理室)
- 発表3 「伊勢志摩国立公園満喫プロジェクトの取組と「これから」」  
野村 将司(環境省伊勢志摩国立公園管理事務所)
- 発表4 「中部山岳国立公園立山室堂地区における火山ガス安全利用対策の現状と課題」  
岡田 実憲(アジア航測株)

**特定セッション2(自然とのふれあい作法)** 14:25～15:10

- 発表5 「西表島における適正利用のための立入制限等ルール策定について」  
西村 大志(株プレック研究所)
- 発表6 「環境問題への関心が身の回りの自然を再認識する～「市民調査員と連携する生物季節モニタリング」の副産物～」 松島 野枝(国立環境研究所気候変動適応センター)
- 発表7 「海ワシ類の保全を目指した餌付け対策」 君島 裕介(環境省釧路自然環境事務所野生生物課)

**特別講演** 15:20～16:20

「自然とのふれあいの促進と課題」

北海道大学大学院農学研究院 生物資源生産学部門 愛甲 哲也 教授

**ディスカッション** 16:25～17:25 モデレーター:愛甲 哲也 教授

**【2日目】6月19日(金) 10:45～15:50**

**一般セッション1(自然とのふれあい)** 10:45～11:50(発表12分+質疑3分、総合討論20分)

- 発表1 「磐梯吾妻・猪苗代地域におけるインタープリテーション全体計画「山の福(めぐみ)ずかん」の策定」  
荒尾 章子・増沢 直・今野 尚美・大西 優士・井上 知美(株地域環境計画)
- 発表2 「阿寒周国立公園満喫プロジェクト・マリモ保護活用のあり方検討について」 神津 州佑(株いであ)
- 発表3 「ベクタ/ラスタタイルで現存植生図2024を楽しむ」 山下 慎吾(環境省生物多様性センター)

**一般セッション2(調査・保全手法)** 13:00～13:50(発表12分+質疑3分、総合討論20分)

- 発表4 「生物多様性評価に向けた深層学習による鳥類の音声抽出」 安田 泰輔(山梨県富士山科学研究所)
- 発表5 「統計モデルを用いた要因制御による環境保全対策の検討:ミズゴケ湿原の事例」  
佐藤 奏衣(株ドーコン)
- 発表6 「珪藻土採掘跡地における8年後の自然の形成状況から自然再生の在り方を考える」  
飯田 一令(株地域環境計画)

**一般セッション3(地域の自然の評価)** 13:55～15:15(発表12分+質疑3分、総合討論20分)

- 発表7 「「都市の生物多様性」の指標化による評価の試み～横浜市を対象に～」  
小谷 光(パシフィックコンサルタンツ株)
- 発表8 「能登半島における豊かな自然環境23地域の選定と情報発信の在り方」 松原 遥香(アジア航測株)
- 発表9 「希少種保全の費用対効果に関する検討～奄美大島の外来種対策と希少種保護増殖事業の事例から～」  
山本 以智人(環境省奄美群島国立公園管理事務所)
- 発表10 「日本最大のサンゴ礁海域「石西礁湖」における自然再生の取組と今後の展開」  
鈴木 規慈(環境省沖縄奄美自然環境事務所石垣自然保護官事務所)

**表彰・閉会** 15:35～15:50

- 表彰・講評 西村 学(自然環境局自然環境計画課長)、森本幸裕((一社)自然環境共生技術協会長)
- 閉会挨拶 森本幸裕((一社)自然環境共生技術協会長)

※要旨・発表資料の公開場所は、後日参加申込者あてに案内します。

申込先

necta-1@necta.jp

件名に「CoNECT参加申込」と明記し、お名前、ご所属、メールアドレスをご記入の上、左記アドレスに送信ください(先着順)。